



# 「壊憲」・「維新政治」許すな！ 住民との共同の輪をさらに広げよう

## 大阪自治労連第28回定期大会

大阪自治労連は第28回定期大会を9月11日、12日の2日間、大阪府中央区のエル・おおさか南館で開催しました。大会では「戦争法案」廃案のたたかいや「維新政治の総退場」と住民共同、組織拡大・職場要求実現などの取り組みについて代議員から発言がありました。運動方針など、提案した全議案を満場一致で決定し、「『戦争法案』を必ず廃案に追い込み、知事選挙・大阪市長選挙で橋下・維新政治に審判をくだそう」とする特別決議を採択しました。同時に、たたかひの先頭に立つ新役員を選出し、新執行委員長に荒田功さん（東大阪市職労）を選出しました。



### 「戦争法案を廃案に！」 「アベ政治を許さない！」

### 8.30 おおさか大集会（扇町公園） 25000の「民意」とどろく

大阪自治労連 執行委員長

荒田 功さん  
(東大阪市職労)

9月11日、12日に大阪自治労連は第28回定期大会を開催しました。自治体労働者の役割が大変重要となっているもと、今大会で新しく大阪自治労連執行委員長に選出された荒田功さんに、決意と抱負を語ってもらいました。



天満橋駅前戦争法案反対の街頭宣伝(9月11日)



# 「団結」こそ たたかひの ちから

今回の大会で執行委員長に選出された荒田です。よろしくお願ひします。大阪自治労連本部に専従役員として勤めて4年がたちました。これまで、みなさんに助けてもらいながらやってきました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

橋下・維新政治と闘い続けた4年間  
地に足をつけて踏んばりたい

4年前は、東大阪市長選挙後の10月から本部事務所に着任。目前には大阪府・大阪市のダブル選挙がありました。息つく暇もなく選挙戦に突入しました。それから、橋下・維新の会とのたたかひが続いています。大阪府・大阪市のダブル選挙が、選挙委員会や裁判所、大阪府や大阪府役所を行き来し、泉佐野市の不当労働行為事件など、それぞれの弁護団会議にも参加し、一気に活動の質と量が変わりました。「良いことも悪いことも大阪が最

初」と聞いたことがあります。できれば良いことばかりであってほしいと思います。現実には様々な「弾圧」と「攻撃」があります。足を地に着け、しっかり踏んばりたいと思います。

「人間らしく生きたい」  
労働組合の原点は不変だから

労働組合運動は、長時間労働と過酷な労働環境を強いられた労働者が、「人間らしく生きたい」という心の叫びから出発しました。この「原点」は時代が移っても変わることはありません。「生きていてよかった」と思える社会をつくること、誰もが平等に人間として尊重される世の中をつくること、私たちが役割だと言え、少し大ききでしょうか？労働者の団結、職場の団結、地域の団結、そして国民の団結がたたかひの力です。みなさんと力を合わせ、がんばります。